

を尊重し密接に連絡をとるよう、都に要望すべきた。
市長 住民の意向を踏まえ、整備が進むよう提案し、都が主体的に接続部分の再検討をするよう伝えたい。
〈その他の質問〉三鷹台駅前周辺地区の整備について

周辺環境に配慮した三鷹のまちづくりを



自由民主党 石井 良司 議員

議員 三鷹市まちづくり条例では、開発行為に該当する建設計画等を行う事業には一定の制限がかかる。しかし、大規模でも土地の形質の変更がなければ、開発行為に該当しない。環境に配慮したまちづくりの観点から、対応について問う。
市長 開発行為に該当しない建築計画等にも、パトリールや指導・助言を行い、環境配慮に努めている。
議員 まちづくりは、市民・事業者が協働で進めている。事業者と市の関わり方、役割について問う。
市長 事業者が工事に関する法令を順守させる役割があり、指導を行っている。

議員 解体・建設現場では様々な問題が生じる。特に市外事業者に対する協力要請について問う。
市長 事前協議を行い、環境への配慮を求めている。
議員 建設現場等で騒音・振動問題等が発生すると、周辺住民と新たに住む住民との地域コミュニティにも影響を及ぼす。特に市外事業者は住民とのコミュニケーションが不足している。市外事業者に対し、しっかり指導すべきではないか。
都市整備部長 建設事業者もまちづくりを担っている、という視点を持つように、建築指導課の窓口などでも指導をしていきたい。

乳幼児から高齢者まで健康に暮らせる支援を



公明党 大倉 あき子 議員

議員 加齢により筋力や認知力が低下したフレイルの状態のうちに適切な支援をすることが、要介護の予防につながる。的確な情報をお知らせすることも、フレイル対策への気づきや動機付けとなり、重要な所見を伺う。
市長 情報の提供も、今後更に継続的に力を入れる必要があると認識している。

議員 産後の母親は、心身

摘されている。原則本人負担だが、国の補助を活用し、費用を助成するべきではないか。所見を伺う。
市長 里帰り出産もあり、本市単独では困難なため、都内区市町村統一の取り組みとして検討している。
議員 新生児聴覚検査は自己負担のため、受診状況が把握できていない新生児がいる。全ての新生児が受診できるように、公費助成を導

次代を担う子どもたちの命を守る施策の拡充を



公明党 粕谷 稔 議員

議員 子どもたちの健やかな育ちを更に推進する意味でも、義務教育就学児医療費助成制度における、所得制限の撤廃を進めるべきと考える。検討状況を伺う。
市長 国や都に動きのない状況もあり、まずは小学生を対象に所得制限の撤廃を図ることが望ましいと判断し、現在検討を進めている。
議員 大阪府北部地震でのブロック塀倒壊による死亡事故を受け、学校と連携した調査、情報の共有、危険箇所への対応について伺う。
市長 通学路の安全の取り組みは教育委員会が中心となって行っているが、市長部局も関係部署が連携する中でブロック塀の安全確保

に適切な対応を図りたい。
議員 頻発する自然災害も含め、大規模災害への備えとしての学校体育館へのエアコン設置が大きな課題となっている。対応を伺う。
市長 来年度モデル的な整備を実施する中で、課題を検証し克服したい。また、今後、国や都で財政措置がなされた場合には、積極的な活用を図っていきたい。
議員 尾張旭市では小学生向けに「子ども防災手帳」を作成している。本市でも防災教育の一環として作成すべきと考える。所見を伺う。
教育長 本市で独自のものを作成する予定はないが、他市の状況も参考に、防災教育の充実を図りたい。

小児がんの早期発見に向け市は積極的な情報発信を



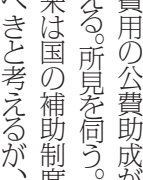
公明党 赤松 大一 議員

議員 我が国では小児の病

気による死亡原因の第1位は小児がんで、その患者と家族は発育や教育など成人のがん患者とは異なる課題を抱える。家族等の不安を

関係機関等とも連携して不安を抱える家族への相談対応にも配慮していきたい。
議員 網膜芽細胞腫は小児の目のがんで、症例が少な

ICTを活用した魅力的なまちづくりを



公明党 寺井 均 議員

議員 ICTを活用することで、幅広い情報共有を可能とし、ニーズ等の相互理解が深まり、魅力的なまちづくりの実現につながる。本市の行政手続きにおけるオンライン利用の促進について、所見を伺う。
市長 市民の利便性の向上と行政事務の効率化に向け、三鷹市地域情報化プラン2022の第2次改定とともに取り組みを進める。
議員 国は事業者の行政手続きコスト削減の1つとして、行政手続きの電子化の徹底（デジタルファースト）を掲げた。本市でも取り組みを進めるべきだ。
市長 事業者の利便性が向上することであり、実施に向け準備を進めている。また、立川市、日野市と進めている自治体クラウドも、この取り組みの基盤として有意義なものにしていく。
議員 事業者が工事入札時

よう国が努力義務と規定している定期予防接種があるが、全額自己負担した場合の接種費用について伺う。
市長 総額で20万円程度になるものと試算している。
議員 小児がんの治療により、予防接種の抗体が失われた子どもたちへのワクチン再接種費用の公費助成が必要と考える。所見を伺う。
市長 本来は国の補助制度で対応すべきと考えるが、自治体の先行事例を参考にしながら学んでいきたい。

に受け取る紙媒体の設計図書の量が膨大で、大変だと聞く。設計図書の電子データ化について伺う。
市長 課題を整理しながら、設計図書の電子媒体化の検討を進めていきたい。
議員 本市はISO14001を運用しているが、紙の削減が環境目標に届いていない。今後の紙文書削減の取り組みについて伺う。
市長 紙文書の必要性を再検討し、更なるペーパーレス化に取り組んでいく。

全ての人に居場所と出番がある市政を



民主緑風会 岩見 大二 議員

議員 市が、できるだけ多くの社会的居場所を増やすことは、あらゆる世代・階層の市民の精神的な安定を促し、穏やかな生活を送れる基盤となる。全ての人に居場所と出番をつくることについて所見を伺う。
市長 全ての市民が人財として活躍するための居場所が必要だ。そのため、いつでも健康で自立した生活を送るための支援や地域社会で自己実現の場を持つてもらうことが重要である。
議員 就学前児童の保護者が息抜きや情報交換ができる交流の場を設けていくことが必要だ。所見を伺う。
市長 市内14箇所の親子ひろばは、同じ環境にある保護者が共に育ち合う場として機能している。新規保育

園を開設する際にも親子ひろばの併設を促す等、ひろば事業に力を入れている。
議員 本市における高齢者の孤立化の状況や今後の想定をどう捉えているか。
市長 閉じこもりのリスクは年齢が上がるに従って増える。孤立化を防ぐための取り組みに参加してもらうきっかけづくりを、生涯学習センター等で推進することが必要だと考えている。
議員 若者の居場所づくりについて、多世代交流センターでの取り組みの状況と今後について伺う。
市長 中高生世代を対象に居場所づくり事業を実施している。今後も相談の受け皿機能を高めるなど、若者の居場所としての役割を十分果たせるよう取り組む。

市内公共交通に係る環境整備を推進せよ



民主緑風会 高谷 真一朗 議員

議員 三鷹駅南口バスロータリーにおいて改善すべき課題の一つに、バスの二重停車がある。当該課題解消の取り組みについて伺う。
市長 三鷹駅南口駅前広場交通対策検討専門部会において、当該広場内の運用ルールや交通規制の見直し、バス乗降場所の再配置について検討している。今後もバス利用者の安全確保を最

優先に利便性の向上について、みたかシティバスを運



ISO14001の更新審査